

## 長期保管前に行う作業

所要時間：15分

必要な道具：手動ポンプ、携行缶  
グリースガン、エアゲージ

長期保管前に適切な作業を行っていないと、次回使用時にエンジン不調や、機械が正常に動かなくなる場合があります。

### ① 機体を清掃する。

別紙資料：「清掃方法」をご参照ください。

### ② グリースアップを行ってください。

別紙資料：「グリース注油方法」をご参照ください。

### ③ タイヤの空気圧を確認してください。

別紙資料：「タイヤの空気圧確認」をご参照ください。

### ④ 機体に残った燃料を抜き取る。

機体が十分に冷えた状態で、風通しがよく火や可燃物が近くにない場所で作業してください。



・手動ポンプを使って、燃料タンク内の燃料を携行缶に戻してください。

※電動ポンプは使用しないでください。

※灯油用のポリタンクはガソリンが変質します。

ガソリン用の携行缶を使用してください。

※静電気には十分注意してください。

・残った燃料は、エンジンが止まるまで運転させて使いきってください。

※スイッチの切り忘れに御注意ください

・その後燃料コックを閉めてください。

別紙資料「燃料コックの場所」をご参照ください。

### ⑤ 風通しの良い、屋根のあるところへ保管してください。

カバーはエンジン及びエンジン周辺、マフラーが十分冷めたのを確認してからかけてください。

### ⑥ 次回使用時は購入後1ヶ月以内の燃料を給油して使用してください。

ガソリンは1ヶ月以上置くと劣化が始まります。劣化燃料はエンジン不調の原因になります。

※劣化燃料の処分はお近くのガソリンスタンドにご相談ください。

※設備・道具がない場合はお近くの販売店にご依頼ください。